

令和7年度第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立上大久保中学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和7年6月19日(木) 10:00～11:30
[場所] 上大久保中学校第2会議室

2 参加者

出席 委員 田澤 崇 (青少年育成栄和地区会会長)
高柳 裕美 (青少年育成大久保地区会理事)
南 崇子 (大久保東公民館長)
小室 美香 (大久保東児童センター館長)
※当日代理出席：伊藤香澄 主任
目黒 良作 (さいたま市立大久保東小学校校長)
宇田 三郎 (上大久保自治協力会会長)
渡部 秀之 (さいたま市防災アドバイザー)
鈴木 法子 (さいたま市立上大久保中学校PTA会長)
中野 睦美 (さいたま市立上大久保中学校前PTA副会長)
高久 正行 (さいたま市立上大久保中学校校長)
伊藤 一俊 (さいたま市立上大久保中学校教頭)
オブザーバー 谷口 健治 (さいたま市立上大久保中学校主幹教諭)
欠席 委員 八木原 晃 (民生児童委員)
井原光太郎 (土曜チャレンジスクール実行委員長)
山下 保夫 (さいたま市立栄和小学校校長)

3 次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 指定書・委嘱状・任命状の交付、学校運営協議会委員自己紹介
- (3) 会長・副会長選任
会長 鈴木 法子氏 副会長 南 崇子氏が選任される
- (4) 開会宣言
- (5) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認
 - ・学校経営方針について
 - ・学校自己評価システムシートについて
 - ・学校予算について
- (6) 熟議
 - ・テーマ「生徒を地域で活躍させるには」

・校外施設で運動会の場合、行き返りの安全面が気になった。PTAは協力して

いたが、人手が足りない。地域でも協力できるとよい。

- ・体育着の名前については、今年度の1年生から体育着の変更により、大きなゼッケンは廃止した。
- ・朝の登校時に、家の前でよいので出てもらえると人の目が多くなる。
- ・コロナ前ではお祭りなどに多くの保護者が係わっていた。今は保護者が地域と関わっていない。興味がなくなっているように思う。地域を巻き込みつつ、保護者が積極的に参加できるもの、イベントなど楽しいもの、興味をひくものがあるとよい。自治会の行事をPTAの連絡アプリを使って流すとか。
- ・中学生になると、地域のお祭りなど、部活動との兼ね合いもあり、参加が難しくなる。
- ・イベントを手伝ってもらうなど、もっと興味を持ってもらうことが大切。
- ・不審者も多くなっている。
- ・中学生は部活動後もまっすぐ帰らず、暗くなってもおしゃべりをしている。
- ・防犯ブザーを配っている学校もある。
- ・区全体で配れば、アピールにもなり、保護者の意識も高まるのではないかな。
- ・保護者の意識を変えていかなければいけないと思う。
- ・つい先日のことも忘れてしまう。もっと興味を持ってもらうことが大切。
- ・育成会の防犯パトロールについて、時間については、実態に即し、見直しを図っている。
- ・地域で見守るということ。外で会った時にも声を掛けられる関係づくりをしていきたい。
- ・今年も防災マスターを実施する。生徒の参加を増やしていきたい。
- ・生徒会をもっと活用できないか。ハイタッチ挨拶はとてもよかった。
- ・防災まつりは、生徒が企画して実践して、というものが好評だった。
- ・埼玉大学を巻き込んでやれないか。
- ・常盤高校を巻き込むと、防災関係はよいと思う。
- ・各施設や地域の横のつながる意識が大事。課題はあるが、継続していくことが大切。

(7) 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会委員会 令和7年12月23日(火)午後
- ・第3回学校運営協議会委員会 令和8年 2月20日(金)午前

(8) 閉会宣言